



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 組織情宣部
2023年10月27日 No.665

全社員で「安全・安定輸送」と 様々な会社施策を担ってきた努力により 業績の回復につながった！

- 変革や業務の融合等で効率的に職場運営ができるようになった反面、社員一人ひとりの業務量は増えたように思う。
その頑張りに応えるような年末手当にしてほしい！ (関東)
- お客さまも戻ってきているので、年末手当は多く出してほしい。
職場が再編されて一人当たりの仕事増えている。それで給料やボーナスが同じ額や減ったのではやっていられない。ボランティアでやっているのではない！
ぜひ多く出してほしい！ (信越)
- インバウンド関連で成田エクスプレスは非常に混雑しているが、一人乗務のため「自分の予約した席を外国人のお客さまが利用していて席が使用できなかった」「検札に来ないのはどうしてなのか」「異常時の情報提供が行われない」などのご意見も増えている。より良いサービスを提供できるように精一杯やっている。その社員の努力に報いる3.5ヶ月の年末手当がほしい！ (関東)

年末手当は社員の奮闘に応えてほしいとの声が多く寄せられる

- JR東日本の業績は、すべてのセグメントで「増収・増益」となっている
これまでの社員の苦労や頑張りがあってこそその業績だと思う。 (関東)
- コロナ禍の入社で、ボーナスは我慢してきた。コロナ前は年間6ヶ月以上だったと初めて知りびっくりした。これだけ業績が回復し、コロナ禍でみんな頑張ったのだから、就業規則の成績率を変更するよりも全体のボーナスを上げるべきだ！ (信越)
- 統括センターになり、企画業務を行うことで仕事量は以前より増えている。
ボーナスを増やしてもらわないと割に合わない。 (関東)

経営側は私たちの努力に満額回答で応えるべきだ！